

知事談話

(岸田総理の退任表明を受けて)

令和6年8月14日
富山県知事 新田 八朗

岸田総理の突然の自民党総裁選不出馬、事実上の退任表明に大変驚いている。

報道によれば、岸田総理は、政治改革を前に進めるとの思いを持って重い決断をされたとのことである。

岸田総理には、令和3年10月の就任以来、新型コロナ対策や国民を守り抜く外交・安全保障、賃上げや投資の促進などによる「新しい資本主義」の実現、そして、大規模な少子化対策、地方が主役の国づくりなどに尽力された。

また、今年1月に発生した令和6年能登半島地震の復旧・復興に向けて、強いリーダーシップのもと、地震発生直後から迅速に対応いただき、支援パッケージのとりまとめや液状化対策などに、手厚いご支援をいただいた。

これらのご功績に敬意を表するとともに、富山県民を代表して感謝したい。